

NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

分冊②：1936–1945

- * 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- * 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- * 1987–2025年の年表は西村理による

主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）
『音楽年鑑』（音楽之友社）
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)
Baker's Biographical Dictionary of Musicians (G. Schirmer, 1971)
Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personeerteil (Schott's Söhne, 1972)

オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

1936

昭和11年

1936年1月8日
1936年1月15日
1936年1月27日～5月13日
1936年2月8日

1936年2月26日

1936年3月12日

1936年3月21日
1936年3月23～30日

1936年4月3日
1936年4月13～25日

1936年4月14日
1936年4月17日
1936年4月18日

1936年4月22日
1936年4月23日～5月1日

1936年5月2日
1936年5月2日

1936年5月6日
1936年5月11日
1936年5月24日

1936年5月26日～6月2日
1936年6月3日
1936年6月3日
1936年6月27日

1936年7月11日
1936年7月15日
1936年8月1日
1936年8月16日

1936年8月17日
1936年9月
1936年9月16日

1936年10月13日
1936年10月14日
1936年10月14日
1936年10月26日

1936年12月9日
1936年12月20日

1937

昭和12年

1937年1月1日
1937年1月21～27日

1937年1月29日
1937年2月23～28日
1937年2月25日
1937年2月28日

1937年3月4日
1937年3月24日

1937年3月28日
1937年4月1日
1937年4月6日
1937年4月26日
1937年4月28日

1937年5月31日～6月30日

1937年6月
1937年6月2日
1937年7月7日

1937年7月11日
1937年7月11日
1937年7月17日
1937年8月12日
1937年8月18日
1937年8月23日
1937年8月27日
1937年9月6日

「ベートーベン交響曲連続演奏」を放送。翌年3月22日まで9回

日本青年館において第1回新響ブロムナード・コンサート開催（以後4月17日、5月8日、6月12日、7月11日とこの年5回催す）

ウィルヘルム・ケンプ、ピアノ演奏会に出演。指揮貴志康一（5月12日告別演奏会にも出演）

第166回定期公演にウィルヘルム・ケンプを迎える

日本放送協会と放送契約成立。放送出演の時「日本放送交響楽団」の名称を使用することになる

第167回定期公演に指揮者ワルター・ヘルベルトを迎えクシエネック《感情の勝利》、プロコフィエフ《3つのオレンジへの恋》行進曲を日本初演

第169回定期公演に再びエマヌエル・フォイアマンを迎える

この年第5回ブロムナード・コンサートを「新響改組記念大音楽会」と名付けて開催。三浦環出演

ドイツからジョセフ・ローゼンストックを専任指揮者として招く

レオニード・クロイツァー演奏契約不履行の理由で新響を告訴。翌年5月告訴を取下げて落着

ローゼンストックによるベートーヴェン連続演奏会第1回

ニコライ・シフェルブラット（指揮）没

日伊親善音楽会に出演

日埃親善音楽会に出演

新響創立10周年記念邦人作曲コンクール入選作品演奏（荻原利次、平尾貴四男、深井史郎、諸井三郎、江文也）

ニコライ・シフェルブラット追悼演奏会

第177回定期公演において独奏者に予定されていたモグリフスキー、突如出演拒否、ウィリー・フライ代演。ローゼンストック同日付で声明書発表

ドイツから招いたフェリックス・ワインガルトナー夫妻演奏会。東京のほか静岡、大阪、京都、名古屋で指揮。7月離日

新響改組記念演奏会

ロンドン軍縮会議の日本全権、脱退を通告。翌日政府声明発表
シャリアピン来日、独唱会
鰐淵賢舟第1回ヴァイオリン独奏会
皇道派青年将校、1,400余人の部隊を率いて挙兵。閣僚らを殺害。永田町一帯を占拠して国家改造を要求（2.26事件）。内閣総辞職。翌日東京都に戒厳令布告
アドルフォ・サルコリ没（三浦環、関屋敏子、原信子、奥田良三、ベルトラムリ能子らを育成、声楽界への寄与大）
アレクサンドル・グラズノフ（作曲）没
ゴールドベルク、クラウス来日、ジョイント・リサイタル
ドイツ文化使節ケンプ来日、ピアノ独奏会
比留間賢八（マンドリン、ギター）没
オットリーノ・レスピーギ（作曲）没
フォイアマン来日、チェロ独奏会
プロコフィエフ《ピーターと狼》モスクワで世界初演
納所弁二郎（作曲）没
クラウディア・ムツィオ（ソプラノ）没
ティボー来日、ヴァイオリン独奏会
「若きフランス」第1回作品発表会
鈴木三重吉（小説）没。10月「赤い鳥」終刊
東洋音楽学会結成（会長田中正平）
第11回オリンピック、ベルリンで開催。日本選手179人参加
ハインリヒ・ウェルクマイスター（チェロ）没
沢田柳吉（ピアノ）没
頼母木駒子（ヴァイオリン）没
日本現代作曲家連盟第1回作品発表会
放送局公募管弦楽曲選外佳作放送（池譲、須賀田磯太郎、服部正）
エルマン来日、ヴァイオリン独奏会
マレシャル来日、チェロ独奏会
伊庭孝（音楽評論）没
上真行（雅楽、チェロ）没
カロール・シマノフスキ（作曲）没
メノッティ《アメリカ舞踏会へゆく》フィラデルフィアで世界初演
朝日新聞社の訪欧機「神風号」立川発。4月9日ロンドン着。国際新記録
独空軍スペインのゲルニカを爆撃
第1回文化勲章授与式
東京声楽専門学院創立
ベルク《ルル》チューリヒで世界初演
蘆溝橋で日中両軍衝突（日中戦争の発端）
ジョージ・ガーシュウィン（作曲）没
ガブリエル・ピエルネ（作曲）没
楽器、蓄音器、レコードなど物品特別課税のため、1割から3割値上げ
ハンカ・ベツォルト（ソプラノ）没
アルベール・ルーセル（作曲）没
ローマ法王庁フランコ政権承認
ヘンリー・ハドリー（指揮）没

	N	響	社会・音楽界
	1937年9月25日		内閣情報部、国民歌《愛国行進曲》歌詞募集（57,578編応募）。12月26日演奏発表会。レコード100万枚売れる
	1937年9月29日	第182回定期公演でシューベルト《交響曲第3番》を日本初演	
	1937年10月23日		中原中也（詩人）没
	1937年10月27日	第183回定期公演でファリャ《三角帽子》を日本初演	
	1937年11月10日	第184回定期公演でリャブノーフ《ピアノ協奏曲》を日本初演。独奏レオ・シロタ	
	1937年11月15日		信時潔《海ゆかば》刊
	1937年11月24日	第185回定期公演でヴェルディ《トロヴァトーレ》からマンリーコの《怒りの歌》を管弦楽伴奏付日本初演。独唱太田黒養二	
	1937年12月13日		日本軍南京占領、大虐殺事件を起す
	1937年12月15日	第186回定期公演でバルトーク《二つの映像》を日本初演	
	1937年12月20日	日独伊文化交流演奏会	
	1937年12月28日		モーリス・ラヴェル（作曲）没
	1938年1月11日		大本営、政府首脳による御前会議。支那事变処理根本方針を決定
	1938年1月19日	第187回定期公演でマーラー《こどもの不思議な角笛》から《むだな骨折り》、《ラインの伝説》を日本初演。独唱関種子	
	1938年2月1日		大内兵衛、有沢広巳、脇村義太郎、美濃部亮吉ら教授グループなど労農派検挙（人民戦線第2次検挙）
	1938年2月8日		塩入亀輔（音楽評論）没
	1938年2月16日	第188回定期公演でウェーバー＝リスト《華麗なボロネーズ》、リスト《ペーターヴェンの“アテネの廃墟”の主題による幻想曲》を日本初演。独奏朝吹文子	
	1938年2月25日	第2回新響作曲コンクール当選作品発表演奏会（荻原利次、山田和男、小船幸次郎、平尾貴四男、須賀田磯太郎）	
	1938年3月12日		ドイツ軍オーストリア侵入開始。3月13日オーストリア新首相ドイツとの合邦を宣言、ドイツ、オーストリアを併合
	1938年3月28日		中華民国維新政府、中支派遣軍の指導で南京に成立
	1938年3月31日		支那事变特別税法・臨時租税措置法改正各公布。23銭以上の入場料、会費を取る音楽会、舞踊会に1割の税金がかかる
	1938年4月20日	第190回定期公演でラヴェル《ピアノ協奏曲》、ドビュッシー《イベリア》を日本初演。独奏井口基成	
	1938年4月28日～6月9日		フィレンツェ5月音楽祭
	1938年5月4日	第191回定期公演でドヴォルザーク《スラヴ舞曲第6番、第1番》を日本初演	
	1938年5月25日	第192回定期公演でシベリウス《交響曲第4番》、ラヴェル《道化師の朝の歌》、ヨハン・シュトラウスⅡ世《常動曲》を日本初演	
	1938年5月28日		ヒンデミット歌劇《画家マチス》チューリヒで世界初演
	1938年6月27～29日		オペラ・パヴォ座第1回公演。《ホフマン物語》第2幕と《ボッカチョ》上演。出演佐藤美子、松島詩子、内田栄一、小森譲そのほか。指揮篠原正雄
	1938年7月11日		張鼓峰で国境紛争起こる。7月29日沙草峰で日ソ軍衝突。8月10日日ソ停戦協定成立
	1938年7月18日		ルツェルン音楽祭始まる
	1938年7月24日～9月7日		ミュンヘン・オペラ祭
	1938年9月28日	第194回定期公演でラヴェル《優雅で感傷的なワルツ》、ゴトヴァッツ《交響的コロ》を日本初演	
	1938年10月5日		河合栄治郎の4著作発売禁止。翌年2月28日起訴
	1938年10月15日		R.シュトラウス《ダフネ》ドレスデンで世界初演
	1938年10月27日		日本軍武漢三鎮を占領
	1938年11月9日	第196回定期公演で藤田晴子（この年の音楽コンクール、ピアノ第1位）デビュー。この回アッターベルク《スウェーデン民謡の主題によるバラードとパッサカリア》、ヴェルディ《シチリアの夕べの祈り》序曲を日本初演	
	1938年11月17日		貞志康一（作曲）没
	1938年12月9日	日独文化協定成立記念演奏会	
	1938年12月14日	第198回定期公演でルーセル《組曲へ長調》、シューマン《ヴァイオリン協奏曲》、コダーイ《マロシェック舞曲》を日本初演。独奏ウィリー・フライ	
	1939年1月		第17回国際現代音楽祭に小船幸次郎《弦楽四重奏曲第1番》入選
	1939年1月23日		国民歌劇協会第1回公演。細谷一郎《サロメ》、安倍盛《じゃがたら文》上演。出演阿南忍、神宮寺雄三郎ほか
	1939年1月25日	第199回定期公演でストラヴィンスキー《カルタ遊び》、ドヴォルザーク《水の精》を日本初演	
	1939年2月22日	第200回定期公演。各国交響楽団の例にならない、第1回定期公演の全曲目を演奏。記念プログラムを発行すると共に、来会者に記念写真をおくる	
	1939年3月1日		岡本綺堂（劇作家、小説）没
	1939年3月19日		ハルビン交響楽団演奏会
	1939年3月22日	第201回定期公演でヴォルフの歌曲5曲を日本初演。独唱関種子	
	1939年3月26・27日		藤原歌劇団《カルメン》を初めて歌舞伎座で公演。新人由利あけみ、中村淑子出演
	1939年3月27日		日本放送協会技術研究所、有線によるテレビジョン実験放送を公開。5月13日無線による実験放送を公開。8月19日日本橋三越で初の一般公開
	1939年4月19日	第202回定期公演でドビュッシー《春》を日本初演	
	1939年4月22日		メノッティ《泥棒とオールド・ミス》NBCから初放送。1941年2月11日舞台初演
	1939年5月4日		原信子歌劇団第1回公演
	1939年5月12日		満蒙国境ノモンハンで満・外蒙両国軍隊衝突（ノモンハン事件の発端）
	1939年5月10日	第203回定期公演でバルトーク《弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽》を日本初演	

1938

昭和13年

1939

昭和14年

	N 響	社会・音楽界
	1939年5月13日	放送会館落成記念特集番組に出演。指揮山田耕筰
	1939年5月15日	ワインガルトナー賞入選作品演奏会。早坂文雄、尾高尚忠、秋吉元作、大木正夫、呉泰次郎の作品を演奏。指揮齋藤秀雄、秋吉、大木、呉
	1939年5月15～20日	ミロウィッチ、ピアストロ、シュスター、ピアノ・トリオ来日演奏会
	1939年5月16・17日	オペラ新声座第1回公演
	1939年5月24日	第204回定期公演でシマノフスキ《協奏的交響曲》を日本初演。独奏井口基成
	1939年6月2日	安部幸明、小倉朗、深井史郎、山田和男、園部三郎、山根銀二らによる楽団「プロメテ」第1回作品発表演奏会
	1939年6月10・11日	京城（現ソウル）公演。新響はじめて海を渡る。指揮齋藤秀雄。独奏罇淵賢舟
	1939年7月1日	日本軍ノモンハン攻撃開始。7月3日敗退。7月23日攻撃再開。7月24日再度失敗。9月15日停戦協定成立
	1939年7月3日	（三浦）環会主催内田元作曲歌劇《熊野》公演。出演三浦環ほか
	1939年8月24日	中等学校音楽科新法令施行
	1939年8月31日	橘糸重（ピアノ）没
	1939年9月	ロシア・オペラ・バレエ団の上演禁止。外来劇団の公演不可能となる
	1939年9月1日	ドイツ陸・空軍ポーランド進撃を開始（第2次世界大戦始まる）
	1939年9月7日	泉鏡花（小説）没
	1939年10月19日	日比谷公会堂開館10周年記念演奏会に出演
	1939年11月8日	第209回定期公演でヒンデミット《交響的舞曲》を日本初演
	1939年12月4日	第211回定期公演でベートーヴェンの歌劇《フィデリオ》を演奏会形式により全曲演奏。12月5日同曲の特別演奏会
1940	1940年1月11日	津田左右吉、東京帝大講師就任を機に右翼の攻撃高まり、この日早大教授を辞任。2月、4著書発禁。3月8日出版法違反で出版者岩波茂雄と共に起訴される
昭和15年	1940年1月19日	毛沢東「新民主主義論」発表
	1940年1月24・25日	国民歌劇第2回公演。ホイヴェルス作チマッチェ作曲《細川ガラシャ夫人》。出演今泉威子、神宮寺雄三郎ほか。指揮山本直忠
	1940年1月29日	中央交響楽団第1回演奏会。指揮マンフレッド・グルリット
	1940年2月1日	警視庁の新興行取締規則公布により歌手、舞踊家、器楽奏者は技芸者許可証が必要となる
	1940年2月15日	ニューヨーク市にアメリカン・ミュージック・センター誕生
	1940年2月23日	「興亜交響曲の夕」に出演。山田耕筰指揮により山田作曲《御大典前奏曲》、《明治頌歌》、《昭和讃歌》を演奏
	1940年3月3日	カール・ムック（指揮）没
	1940年3月13日	永井建子（軍人、音楽家）没
	1940年4月	東京石川島造船所、戦艦大和・武蔵艦装用のフローティング・クレーン進水（世界最大）
	1940年4月3日	皇紀2600年奉祝芸能祭制定交響作品第1回発表演奏会に出演。秋吉元作、清瀬保二、大木正夫作品を演奏。指揮秋吉、小船幸次郎、大木。大木は熱演のあまり脳貧血をおこし、演奏終了後指揮台から動けず
	1940年5月1日	1937（昭和12）年11月発足の東京放送管弦楽団、日本放送協会専属となる
	1940年5月3～24日	日本現代作曲家連盟創立10周年記念作品発表会
	1940年5月12日	新響法人化を計るべく、各部から36名の法人設立審議委員を選出、さらに組織変更専門委員会を設置、委員5名を推挙
	1940年6月	文部省、絶対音感教育を採用。ドレミ階名唱法をハニホ音名唱法に改正
	1940年6月11日	建国祭制定紀元2600年記念曲発表演奏会
	1940年6月15・16日	再度京城公演。指揮ジョセフ・ローゼンストック
	1940年9月25・26日	第218回定期公演から、会員希望者増加のため、演奏を2日間行う。この回少年ヴァイオリニスト江藤俊哉、岩淵龍太郎が揃って新響に初出演
	1940年9月27日	日独伊3国同盟ベルリンで調印
	1940年10月	大日本音楽協会解散
	1940年10月12日	大政翼賛会発会式
	1940年11月7日	コンセール・ポピュレール改め青年日本交響楽団第1回演奏会。指揮服部正
	1940年11月27日	辻久子第1回ヴァイオリン独奏会
	1940年11月28日～12月1日	山田耕筰《夜明け（黒船）》を東京宝塚劇場で初演。出演辻輝子、長門美保、杉村春子、藤原義江、永田絃次郎ほか。指揮山田耕筰
	1940年12月7～15日	紀元2600年祝典事務局主催「紀元2600年奉祝大演奏会」に、新響、中央交響楽団、東京放送管弦楽団、宮内省楽部、東京音楽学校、星桜吹奏楽団のメンバーによる「紀元2600年奉祝交響楽団」として出演。イベール、ヴェレッシュ、ピッツェッティ、R.シュトラウスの作品を演奏。16～27日大阪でも演奏
1941	1941年1月8日	東条英機陸相「戦陣訓」を示達
昭和16年	1941年1月15日	日独文化協会後援演奏会に出演
	1941年1月20日～12月8日	豊増昇、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲連続演奏（全7回）
	1941年1月22・23日	第222回定期公演でマーラー《大地の歌》を日本初演。指揮ジョセフ・ローゼンストック。独唱四家文子、木下保
	1941年1月30日	尾高尚忠帰国演奏会に出演。尾高初めて新響を指揮、自作《芦屋乙女》、《みだれ》ほかを演奏。翌年4月、山田和男と共に専任指揮者に就任
	1941年2月26日	情報局、各総合雑誌に執筆禁止者名簿を内示
	1941年3月29日	白衣勇士慰問演奏会
	1941年4月10・11日	音楽コンクール東日本受賞者演奏会に出演。指揮齋藤秀雄。独奏（唱）江藤俊哉、長門美保、辻久子、黒田睦子、竹本光江、藤田晴子
	1941年4月24日	草間（安川）加寿子第1回ピアノ独奏会（デビューはこの年1月9日中央交響楽団により）
	1941年5月6日	スターリン、ソ連首相に就任
	1941年5月19日	ベトナム独立同盟（ベトミン）結成、盟主ホーチミン

1945

昭和20年

1945年2月4日
1945年2月19日
1945年2月21〜23日
1945年3月
1945年3月9〜10日
1945年4月1日
1945年4月6日
1945年4月13日
1945年4月22日
1945年4月28日
1945年4月30日
1945年5月1日
1945年5月7日
1945年6月7日

1945年6月13・14日

1945年7月26日
1945年8月2日
1945年8月6日
1945年8月8日
1945年8月12日
1945年8月15日

1945年8月28日
1945年9月9日
1945年9月12日

1945年9月14・15日

1945年9月15日
1945年9月21日
1945年9月26日
1945年10月9日
1945年10月14日
1945年10月16日

1945年10月24・25日

1945年10月29日
1945年11月1日
1945年12月6日
1945年12月7日

第263回定期公演を高田信一が指揮。高田の定期初出演

理事長に矢部謙次郎就任。1947（昭和22）年10月17日まで在任

第267回定期公演でベートーヴェン《交響曲第9番》を演奏。戦時中最後の定期公演。指揮尾高尚忠

戦後初の管弦楽放送に出演。伊福部昭《北日本の民謡による組曲》を演奏

戦後初の定期公演。9月15日中継放送。指揮尾高尚忠

第269回定期公演。前年2月以来時局の影響で舞台で立てなかったジョセフ・ローゼンストック再び指揮台に立つ

『日響の時間』放送開始。のちに『日響演奏会』となる

米英ソのヤルタ会談開かれる

米軍硫黄島に上陸。3月17日、日本守備隊全滅

東京交響楽団、戦災による練習場の焼失や楽員の多数応召により活動停止

B29東京大空襲。江東地区全滅

米軍沖縄本島に上陸。6月23日守備隊全滅。戦死9万、一般国民死者10万

ソ連軍ウィーンを占領。5月14日オーストリア民主共和国成立

ソ連戦車隊ベルリン市街に突入

ムソソリーニ銃殺

ヒトラー自殺

ウィーンのフォルクスオーバー再開

ランスおよびベルリン（5月8日）で独軍、連合国の無条件降服文書に調印

ブリテン《ビーター・グライムズ》ロンドンで世界初演

米英ソ対日ポツダム宣言発表

ビエトロ・マスカーニ（作曲）没

広島に原子爆弾投下。8月9日長崎にも原爆投下

ソ連対日宣戦布告

ザルツブルク音楽祭再開

正午、戦争終結の詔書放送。日本無条件降伏、ポツダム宣言受諾を発表

歌謡曲と軽音楽、戦後初放送される

平岡養一木琴独奏会。戦後初独奏会

アントン・ウェーベルン（作曲）没

東京都音楽団結成

ベーラ・バルトーク（作曲）没

日本音楽文化協会解散

本居長世（作曲）没

田中正平（物理学）没

成田為三（作曲）没

クロイツァー、ショパン全曲演奏第1回演奏会

近衛秀麿、諏訪根自子欧州から帰国